

登録コード	A3594380	開講年度	2026				
授業科目	専攻研究				担当教員	三木 敦朗	
英文授業名	Thesis Research						
単位数	2	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している				森林政策学の基礎を理解し、既存の研究を整理できる能力を獲得している。		
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				既存の研究を批判し、研究課題を発見できる能力を獲得している。		
	2 0 2 6 A3 編（24A）, 2 0 2 5 A3 編（23A）, 2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				森林政策学の基礎を理解し、既存の研究を整理できる能力を獲得している。		
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				既存の研究を批判し、研究課題を発見できる能力を獲得している。		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	以下の内容である。本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。 (1) 調査の実施 (2) 分析 (3) 論文執筆・報告						
(5)授業計画	概要に同じ。毎週の演習（ゼミ）での報告を求める。 最終回の最後の15分は授業アンケート						
(6)自主学習の指針	ゼミ報告では、自主学習の内容を報告する。						
(7)成績評価の基準	ゼミでの報告・プレゼンテーション、論文の内容を評価する。						
(8)事前事後学習の内容	教科書および参考書の事前学習を要する。						
(9)テストやレポートの予定	毎回のゼミでレジュメの提出を求める。						
(10)成績評価の方法	レジュメ・プレゼンテーション、論文の内容によって、下記のように区分する。なお、欠席は減点する。 S：きわめてよく達成されている（90-100点）、A：よく達成されている（80-90点）、B：達成されている（70-80）、C：やや不足がある（60-70）。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	担当教員に相談のこと。						
(12)履修上の注意	本演習は孤独におこなうものではない。仲間と議論しつつ、受講されたい。						
【教科書】	本多勝一『日本語の作文技術』朝日新聞出版、2015年						
【参考書】	適宜指定する。						